



GLOSSARY

#

- 1:1 冗長性** 中断なしに引き継ぐことができるバックアップをハードウェアごとに1つずつ確保して、冗長性を実現するメカニズム。
- 1:n 冗長性** 障害が1つ発生した場合に中断なしに引き継ぐことができるバックアップを、 n 個の同様なハードウェアごとに1つずつ確保して、冗長性を実現するメカニズム。

A

- AAA アドレス** Authentication, Authorization, Accounting : 認証、許可、アカウントリングアドレス。課金サーバまたは認証サーバと通信するときに使用する IP アドレスです。AAA はアップストリームに要求を転送する前に、ユーザ/エンドポイント認証を実行します。
- DBE を制御するための Call Admission Control (CAC; コール アドミッション制御)
 - Quality of Service (QoS; サービス品質)
 - Network Address Port Translation (NAPT) バインディング
 - ファイアウォール ピンホール
 - 課金用の Call Detail Record (CDR; 呼詳細レコード) 生成

- ALG** Application Layer Gateway。2つのネットワーク間のトラフィックのブリッジです。トラフィックを生成するアプリケーションの情報を保持し、このアプリケーションのレベルで動作します。

B

- B2BUA** Back-to-Back User Agent。2つのコール レッグに対応するシグナリング フローを連結し、レッグごとにローカル終端を実行して、コール レッグをブリッジングするソフトウェアです。

C

- CAC** Call Admission Control : コール アドミッション制御。イベントが受け入れられたか、または拒否されたかを判別するために、コール イベントのセットアップ フェーズ中にネットワークで実行される一連のアクションです。
- CDR** Call Detail Record : 呼詳細レコード。電話コールの課金レコードです。
- CE** PE を参照。

D

- DBE** Data Border Element : データ ボーダ エlement (別名はメディア プロキシ)。SBC のメディア処理部分 (RTP、RTCP など) を表します。サービス カードごとに DBE が 1 つだけ存在します。ただし、DBE を複数の Virtual DBE (VDBE) に分割できます。DBE は次のサービスをサポートしません。
- 帯域幅割り当て、コール アドミッション制御 (CAC)、および Service Level Agreement (SLA; サービス レベル契約) モニタリング
 - ポリシング、マーキング (DSCP)、およびレート制限
 - RSVP プロキシ
 - ファイアウォール (メディア ピンホール)
 - セキュリティ機能
 - NATP トラバース
 - トポロジ非表示
 - VPN 認識 (VPN 相互接続)
 - 品質モニタリングおよび統計情報収集
- DiffServ** Differentiated Services。IP トラフィックにさまざまなプライオリティをマーキングするためのメカニズムです。
- DMZ** Demilitarized Zone : 非武装地帯。企業 LAN などの信頼できるプライベート ネットワークと、パブリックなインターネットなどの信頼できないパブリック ネットワークの間に配置される、小さなサブネットワークです。
- DoS** Denial of Service : サービス拒絶。ハードウェアを何らかの方法で過負荷にする、悪意ある試みです。
- DoS 保護** Denial of Service (DoS; サービス拒絶) 攻撃から SBE を保護します。
- DSP サービス制御** コーデック ネゴシエーション手順に関与し、ネゴシエーション中のコーデックにポリシーを適用して、Digital Signal Processor (DSP; デジタル信号プロセッサ) サービスを制御します。

H

- H.248** H.248 (または Megaco) は、通常ダンプ デバイスと精密コントローラ間で使用される、VoIP シグナリング プロトコルです。MGCP と機能が似ています (構文以外)。分散 SBC システム内の SBC と DBE 間の通信に使用されます。
- H.323** VoIP のシグナリングに使用されるプロトコル。
- HSD** Hot Software Downgrade。

I

ID およびアドレス非表示用のメッセージスクラビング シグナリング ヘッダー内の ID および IP アドレス情報を追加、削除、または変更して、エンドユーザ ID 情報およびエンドユーザ IP アドレスを非表示にします。

M

Megaco H.248 を参照。

MGCP Media Gateway Control Protocol。通常ダンプ デバイスと精密なコントローラ間で使用される、VoIP シグナリング プロトコルです。H.248/Megaco と機能が似ています（構文以外）。RFC 2705 で定義されています。

MPLS Multiprotocol Label Switching : マルチプロトコル ラベル スイッチング。ネットワーク トラフィック フローのシェーピングおよび管理に使用されるプロトコルです。

N

NAT Network Address Translation : ネットワーク アドレス変換。IP アドレスをプライベート アドレスからパブリック アドレスにリアルタイムで変換するプログラム、またはハードウェアです。これにより、複数のユーザが同じパブリック IP アドレスを共有できます。

NAT トラバース エンドポイントが NAT デバイスの背後にあり、NAT トラバースを提供していることを検出します。

NNI ネットワーク間インターフェイス。2 つのキャリアの境界です。

O

OAM Operation, Administration, and Maintenance。

P

PE Provider Edge : プロバイダー エッジ。サービス プロバイダーのネットワークのエッジにある機器です。通常は、Customer Edge (CE; カスタマー エッジ) 機器と対比されます。

POTS Plain Old Telephone Service : 一般電話サービス。ほとんどの家庭で使用される標準電話サービスです。別名は PSTN です。

PSTN Public Switched Telephone Network : 公衆電話交換網。相互接続された音声中心の公衆電話網の集まりです。

R

- RADIUS** Remote Authentication Dial-In User Service。コール アカウンティング サービスまたは認証サービスと接続するために SIG で使用されるプロトコルです。
- RSIP** Realm-Specific Internet Protocol。NAT の代わりに使用される IP アドレス変換技術です。企業は RSIP を使用して、単一のパブリック インターネット アドレスの背後にある多数のプライベート インターネット アドレスを保護できます。
- RTCP** Real-Time Control Protocol。RTP トラフィックのパフォーマンス情報を伝達するプロトコルです。
- RTP** Real-Time Protocol。VoIP メディア データを伝達するための主要プロトコルです。RFC 3550 で定義されています。

S

- SBE** Signaling Border Element : シグナリング ボーダ エlement (別名はシグナリング プロキシ)。SIP または H.323 プロトコルを使用してすべてのコール処理を実行する SBC のシグナリング エージェントを表します。サービス カードごとにシグナリング エージェントが 1 つだけ存在します。SBE は通常、1 つまたは複数のメディア ゲートウェイを制御します。SBE は次のサービスをサポートします。
- コール アドミッション制御 (CAC)
 - シグナリング スクラビング
 - セキュリティ機能
 - ルーティング
 - 登録/認証
 - ID 非表示
 - トポロジ非表示
 - プロトコル変換
 - メディア ゲートウェイまたはメディア サーバとの通信によるトランスコーディングの実行
- SDP** Session Description Protocol。コーデック、IP アドレスとポート、ビット レートなどの情報を含む、メディア ストリームの主要機能を記述するための構文です。RFC 2327 で定義されています。
- Session Control Interface (SCI)** SCI は分散モードでの動作中にさまざまな DBE エンティティを制御します。
- SIP** Session Initiation Protocol。VoIP のシグナリングに使用されるプロトコル。
- SLA** Service Level Agreement : サービス レベル契約。提供されるサービス レベルを指定する、サービス プロバイダーとカスタマー間の契約です。
- SNMP** Simple Network Management Protocol : 簡易ネットワーク管理プロトコル。ハブ、ルータ、ブリッジなどのアクティブなネットワーク コンポーネントのリモート管理方式を定義するインターネット 標準です。
- SP** サービス プロバイダー。
- SVI** Service Virtual Interface。

- T**
- TCP** Transmission Control Protocol。通信プロトコルの TCP/IP スイートで使用されるコネクション型のトランスポートレベルプロトコルです。
- TLS** Transport Layer Security。インターネット経由の通信リンク上でデータ整合性およびプライバシーを確保するプロトコルです。これにより、クライアント / サーバアプリケーション間の通信が可能になります。このプロトコルの目的は、盗聴、メッセージの改ざん、および妨害の防止です。
- U**
- UDP** User Datagram Protocol : ユーザデータグラムプロトコル。インターネットで使用される、TCP/IP プロトコルスイートのトランスポートレイヤプロトコルです。UDP はデータ転送の両端で使用されます。接続を確立したり、TCP などの信頼できるデータ転送を実現したりはしません。
- UNI** User-to-Network Interface。サービスプロバイダーとカスタマー間の境界です。
- V**
- VDBE** DBE 内のリソースパーティションを表します。VDBE はメディアゲートウェイのタイプの 1 つです。H.248 (Megaco) プロトコルを使用して、各 VDBE をそれぞれ異なる SBE で制御できます。
- VoIP** Voice over IP。
- VoIP イベント** 新しいコール、コールアップデート、加入者登録など、VoIP ネットワーク内の重要なイベント。
- VoIP シグナリングピア** VoIP シグナリングネットワーク内のピアデバイス。
- VPN** Virtual Private Network : バーチャルプライベートネットワーク。
- VRF** VPN Routing and Forwarding : VPN ルーティングおよび転送インスタンス。
- あ**
- アカウント** SBE では、アカウントはサービスとリモート構成の関係を表します。各隣接機器にはアカウントが 1 つずつ割り当てられ、これを使用してカスタマー固有のコールアドミッション制御やルーティングポリシーコンフィギュレーションが定義されます。
- アドミッション制御ポリシー** システムおよびコールレベルの制約事項を定義する SBE 上の一連の規則。
- こ**
- 合法的傍受** Intercept-Related Information (IRI) およびコールコンテンツ代行受信 (メディアストリームの複製) を提供します。

コーデック Compressor/Decompressor。コーデックはデータ（通常は音声またはビデオ）を圧縮および圧縮解除するためのテクノロジーです。

コール ポリシー 新しいコール イベントに対する SBC の応答方法を設定する場合に使用される、相互接続された一連の規則。番号分析、ルーティング、および CAC が含まれます。

し

シグナリング アドレス VoIP シグナリング（つまり、SIP や H.323）を終端するための SBE の IP アドレス。特定の VPN に固有のプライベート アドレスを SBE に割り当てる必要がある場合は、VPN ID（VRF 名）でシグナリング アドレスを修飾できます。

シグナリング プロトコル変換およびインターワーキング SIP や H.323 などのさまざまなシグナリング プロトコル間でプロトコル変換を実行します。

せ

制御アドレス SBE 間で H.248 制御トラフィックを終端するために使用される SBE または DBE の IP アドレス。AAA 制御トラフィックでも使用されます。

と

トポロジおよびインフラストラクチャの非表示 ルーティング情報を削除したり、シグナリング ヘッダー内の From/Contact 情報を変更したりして、企業のトポロジおよびインフラストラクチャを非表示にします。

トランスコーダ コーデック間の変換テクノロジー。

は

番号分析 送信先番号が有効であるかどうかを判別し、オプションとして、コールにカテゴリを割り当てたり、送信先番号を編集したりするための一連の規則。

ふ

ファイアウォール 不正アクセス、特にインターネット経由のアクセスから、コンピュータ ネットワークを保護するために設計されたシステム。

め

- メディア アドレス** メディア リレー機能用の DBE の IP アドレス プール。DBE が接続された VPN ごとに、個別のアドレス プールが定義されます。DBE 内のすべての vDBE は、これらのプールからメディア アドレス を取得します。
- メディア トランス
コーディング デバイ
ス** メディア コーデック タイプをリアルタイムで変換できる、メディア ゲートウェイのタイプ。SBE では、単一コールのデータ パスに、vDBE とメディア トランスコーディング デバイスの組み合わせが配 置されていることがあります。
- メディア バイパス** 同じカスタマー ネットワークまたは VPN 内の 2 つのエンドポイント間で、DBE をバイパスして、 直接送信できるようにメディアを設定するための SBC 機能。

る

- ルーティング ポリ
シー** シグナリング要求の送信先となるネクストホップ VoIP シグナリング エンティティを判別するための SBE 上の一連の規則。指定された送信先番号が有効かどうかを判別し、有効な場合は、発信シグナ リングの送信先を判別します。

ろ

- ロード関連サービス
(ロード シェアリン
グおよびロード バラ
ンシング)** SBE は、複数のアップストリーム / ダウンストリーム サーバにメッセージを送信する場合、ロード バランシングも実行できます。
- ロケーション ID** ネットワーク内の DBE の場所を識別します。

